

年長組**9月18日 どうやったら勝ち負けがつくの？**

11日のリレー(あそびまつりだよりNo.6より)の反省も思いながら、今日は体育館でリレーをすることになりました。

この日はコーンを並べるだけで1時間近くかかってしまいました。 見ている担任も、今日はリレーはできないかもしれないな…と途中で心が折れそうにもなりましたが、なんとか丸いリレーコースを並べることができた子ども達。準備ができると、「並んでー！」と張り切る子ども達の姿がありました。

前回のリレーでは、コースの内側を走っていた子ども達ですが、今回は「内側を走る！」派と、「外側を走る」派と別れ、コーンの外側を走ることになりました。走った後、コーンの内側と外側とどちらが走りやすいか聞いてみると、「外！」となりました。小さなことですが、ひとつひとつ、子ども達と決めてリレーを楽しんでいます。

**10月2日 ペアと一緒に走る？**

「竹組ならんでー！！」「松組ならんでー！！」

この日も張り切ってリレーが始まりました。子ども達の中で、この子と一緒に走るというのが決まっている様で、松組と竹組のペアができて、手を繋いで走る順番を待つ子がいます。

リードしていた松組の子がバトンを渡そうと帰ってきた時、「あれ？次だれ走るん？」次に走る人がわかりません。(並んでいる子は、竹組の子と手をつないで待っています。)

よくルールをわかっているSが「はやく！次はして！」と、手を繋いで待っているTをせかします。

ところが、Tが走ってしまうと、手を繋いでいた竹組のYが「じゃあオレ、一緒に走る人おらんくなるやん！」と、怒りだしました。(笑) 大混乱のリレーです。

後の話し合いでは、「ペアってあるの？」の質問に、「ある！」と「ない！」ではっきり別れてしまいました。分かってほしいと思った担任は、「片方の組の子が走って、勝っていても、ペアの子と走るために、一緒に走り出すのを待つのか？」と思わず、聞いてしまいましたが、分かったような分かってないような感じでした。

10月6日 リハーサル 一緒に走る人おらへんで！

2日の話し合いがどれだけ、わかったのだろうか…？と疑問を抱えたままの、リレーのスタート。

年中、年少のお友達に見られていることもあり、コーンを並べるのがとってもはやくてびっくりしました！

お兄さんお姉さんなんだという張り切ったパワーが素敵です。

しかし、まだまだペアで走るという感覚のままの子がたくさんいました。なんとか、竹組の最後の一人が走り終わりましたが、「一緒に走る人おらんやん！！」と応援席から怒り出す子が…。

どうやって勝ち負けがつくのでしょう？ まだまだわからない年長です。

10月7日 やつとの勝敗

どうしても、勝ち負けがわからない子ども達。この日は、円ではなくて一直線で走ってみることにしました。

前回のおたよりで出した、エンドレスリレーの経験から「一人一回しか、走らないことと、全員先に走り切った方が勝ちということ」はなんとなく理解してきている子ども達。

一直線で走って、お友達の走りを応援したりしていくうちに理解が固まった様です。

「よーいピー！！」の審判の合図で走り出す子ども達。

「あかぐみがんばれ！」「しろぐみがんばれ！」「〇〇くんー！！いけー！！」「〇〇ちゃんはやい！」

いろんな声援が飛び交います。

先に全員走り終わったのは、松組でした。「イエーイ！！」と歓声上がる中、

Hくんが「松組さんはお休みがいるから、竹組の方が人数が多いから負けちゃう。」と言いました。

(この日は、2人お休みでした。)

じゃあ、どうしよう？と聞くと、「松組が少ないから、竹組の人数減らす？」「竹の子が松に入ったらいいんちゃうん？」という意見が… (笑) 竹組さんに「ほんとうにそれでいいの？」と聞くと、「…いやや。」となりました。減らすのは難しいので、休みの子の分は2回走る人がいるということになりました。

毎度、すーっとは最初から最後まで通ってリレーができません。

それでも、毎回、何か課題が見えたり、発見があったりします。いろんな壁にぶち当たりながらですが、リレーが大好きな子ども達がたくさんいます。残り一週間！あそびまつりが楽しみです。